



## 1年 SSHラボツアー 2日目 研修③ 京都大学 桂キャンパス

ラボツアー2日目の10月24日の午前中は、京都大学桂キャンパスを訪問しました。桂キャンパスは、2003年10月にオープンした京都大学3番目の理系大学院を核としたキャンパスで、4つのクラスターから構成されています。

工学部・工学研究科の概要について説明していただいた後、キャンパス内の施設3カ所を見学させていただきました。

環境系研究室では、地球系・建築系・物理系の研究が行われており、環境中に含まれる物質の解析や水の処理方法などについて研究を行っています。実験で条件を整えるため、部屋をまるごと冷蔵庫や冷凍庫にした場所もありました。

EMセンター（環境安全衛生センター）では、研究室単位での効率的な省エネ・環境活動を支援するため、キャンパス内の全施設のエネルギー管理を行っています。部屋全体に管理用の機器が設置され、その存在感に圧倒されました。また、インテックセンター（シミュレーションラボ・無響室）は、構造物の破壊実験や流体実験等、大規模な実験装置を用いる実験研究実



施のための大空間実験室です。無響室の部屋は、「吸音くさび」というガラスウールで編み込まれた繊維でつくられており、室内の音は響かないようになっていて、自分たちの声も普段とは違った音に聞こえました。その他、化学系図書館や船井講堂ノーベル賞展なども見学しました。

### 参加生徒の感想より

「一番興味深かったのは、無響室だった。音が響かないのにとっても驚いた。クッションのような触り心地や凹凸のたくさんある形がととても不思議でした。」

「環境に配慮するために様々な取組が行われていることがよく分かりました。個々の研究室が独立しているように見えて、実は“環境”というキーワードでつながっているんだなと思いました。」

「様々な分野に対する実験・研究をするための施設が非常に多く、充実していることに驚きました。」

「大学内にとっても大がかりな機械を扱っているところがあって、本当に驚いた。内容は難しかったけれどおもしろかったです。」

「全体的にとっても難しかったけれど、今どんなことに取り組んでいるとか、未来はこういう風になりたいとか話していただき、とてもよい経験になりました。」

「インテックセンターでは、様々な研究室があり、機器がととても整っていて研究者の方にとって快適な場所なんだろうなと思った。ここで未来への新しい技術がつくられているんだと思った。」

「21世紀初頭の先端科学技術を後世に伝えるためにつくられたという、桂モニュメントが印象的でした。」

「部屋がまるごと冷蔵庫や冷凍庫になっていて、とても寒かったし、驚いた。」



## SSH報告

### 1年 SSHラボツアー2日目 京都大学 桂キャンパス



## 第5回高校化学グランドコンテストで発表

### SS探究科学Ⅱ化学ゼミ 「化学発光物質の研究」

11月2日（日）、大阪市立大学（杉本キャンパス）において、第5回高校化学グランドコンテストが開催されました。環境科学科2年の「探究科学Ⅱ」化学ゼミの4名が参加し、「化学発光物質の研究」についてポスターセッションを行ってきました。午後からは最終口頭発表も行われ、各々が取り組んできた研究内容について活発な意見交換がなされました。



### 参加生徒の感想より

「発表までのポスター準備には、思っていたより多くの時間がかかり、大変でした。ポスターセッションでは、いろいろ細かいところまで質問され、答えられないところもありましたが、自分達が気づけなかった点を発見することができました。」

他校の発表を聞くこともでき、多くのことを学習することができ、よい経験になりました。」

